

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

学校図書館への司書派遣事業

事業の経過・背景・課題

本市では、令和3年度まで専任の「学校司書」の配置がなく、市立図書館の職員1名を市内小学校6校に派遣していた。

本に関する助言・整備等を行い子どもたちの読書への興味を高めるとともに、授業支援等を行い子どもたちの「学び」を支えるためには、学校司書の配置が必要であるため、令和4年度から学校司書を3名任用し全小学校に配置したが、中学校には配置しておらず、図書館教育を進める環境が十分でない。

取組内容

交付実績額： 2,954 千円（小学校配置 3名）

※セット新規：中学校配置（2名）

（※）本交付金を活用することで生じる余剰財源の1/2程度の額により教育環境の充実に資する事業を新たに実施・拡充

全小・中学校、義務教育学校を学校司書（5名）が巡回し、子どもが読書に親しむことができる環境を向上（学校司書は、拠点校を中心に担当の学校を巡回）

【取組内容】

- 学校図書館の整備
 - ・学校図書館の環境や資料の整備
 - ・児童生徒への読書支援
 - ・学校図書館情報の発信等
- 教育指導への支援
 - ・情報の紹介、資料リストの作成等による授業支援
 - ・司書教諭との連携による様々な教育支援



事業の成果・今後の展望等

- ・専任の「学校司書」がいることで、子どもたちが図書館に足を運びやすく本に関する相談ができるなど、読書量の増加につながっている。
- ・子どもたちの手に渡る本がきれいになり、新しい本も早く提供することができるなど、学校図書館の環境整備が格段に良くなった。
- ・学校図書館は児童生徒の読書活動の拠点であるため、学校司書の配置をより充実させ、巡回回数を更に増やしていく必要がある。